



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリサーブ

コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅井 清孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,364	—	△18	—	7	—	△0	—
23年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △3百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.84	—
23年3月期第1四半期	—	—

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,127	4,613	90.0
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,617百万円 23年3月期 一百万円

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	—	60	—	80	—	30	—	1,150.13
通期	5,500	—	350	—	370	—	180	—	6,900.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率については記載していません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	26,084 株	23年3月期	26,084 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	26,084 株	23年3月期1Q	25,808 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、当第1四半期連結累計期間より「百力服軟件測試(上海)有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結累計期間より「百力服軟件測試（上海）有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンの復旧をすすめており、回復基調で推移しております。しかしながら、震災以降、消費者の節約志向は強くなっており、消費者動向は厳しい状況にあります。

当社を取り巻く環境といたしましては、製造業では生産活動が回復基調で推移しておりますが、節電対策など企業活動に影響を受けております。

このような中、当社では主力サービス分野である開発検証サービスを展開し、製品に組み込まれるソフトウェアの検証業務を推進いたしました。

自動車分野では、生産活動の回復とともに震災対応等を含め、検証業務が増加いたしました。また、オーディオ・ビジュアル機器をはじめとした情報家電分野の検証業務が堅調に推移いたしました。他方、通信分野では、新しく開発されたスマートフォン等の検証業務が増加傾向で推移するものの、従来型の携帯電話での検証業務は停滞しており、より高速な通信方式へ移行していく段階になってきております。

また、企業におけるコンピューターシステムに対するセキュリティ対策に関心が向けられつつあり、インターネットに接続されたシステム等に対する脆弱性を検証するサービスが堅調に推移いたしました。

一方、中国における検証事業の展開につきましては、前期、中国に子会社を設立し、検証サービス要員の採用・教育を行い、サービス提供を始めましたが、当面は投資段階にあると捉えております。

以上のような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,364,772千円となりました。また、原価低減を進めるものの、4月より新卒社員の教育費用等を費やした結果、営業損失は18,732千円となりました。一方、営業外収益にて助成金等を計上した結果、経常利益は7,417千円となり、法人税等を計上した結果、四半期純損失は21千円となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第1四半期連結累計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産の部）

流動資産合計は、4,682,374千円となりました。その主な内訳といたしましては、現金及び預金3,653,240千円及び売掛金838,391千円です。

固定資産合計は、444,991千円となりました。その主な内訳といたしましては、有形固定資産81,672千円、無形固定資産125,138千円、敷金及び保証金184,776千円です。

以上の結果、資産合計は、5,127,365千円となりました。

（負債の部）

流動負債合計は、500,703千円となりました。その主な内訳といたしましては、買掛金128,597千円、未払費用127,616千円及び賞与引当金121,263千円です。

以上の結果、負債合計は、514,199千円となりました。

（純資産の部）

純資産合計は、4,613,165千円となりました。その主な内訳といたしましては、資本金792,102千円、資本剰余金775,852千円及び利益剰余金3,049,110千円です。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末比については記載しておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、3,653,240千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の減少(107,552千円)等により増加したものの、引当金の減少(86,514千円)及び法人税等の支払(114,286千円)等により、当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果、減少した資金は61,691千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

無形固定資産の取得(16,155千円)等により、当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は19,370千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払により、当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は39,194千円となりました。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成し、連結決算に移行しております。

業績予想につきましては、現時点における影響額が軽微であるため、平成23年4月27日公表の「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における個別業績予想の金額を連結業績予想としております。なお、個別業績予想につきましては、当初予想を据え置いております。

詳細につきましては、平成23年7月28日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
 (平成23年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,653,240
売掛金	838,391
仕掛品	7,716
前払費用	53,566
繰延税金資産	107,983
その他	21,475
流動資産合計	4,682,374
固定資産	
有形固定資産	81,672
無形固定資産	125,138
投資その他の資産	
投資有価証券	35,000
繰延税金資産	15,099
敷金及び保証金	184,776
その他	3,304
投資その他の資産合計	238,179
固定資産合計	444,991
資産合計	5,127,365
負債の部	
流動負債	
買掛金	128,597
未払金	7,831
未払費用	127,616
未払法人税等	8,864
未払消費税等	37,633
預り金	64,456
賞与引当金	121,263
その他	4,440
流動負債合計	500,703
固定負債	
退職給付引当金	10,296
役員退職慰労引当金	3,200
固定負債合計	13,496
負債合計	514,199
純資産の部	
株主資本	
資本金	792,102
資本剰余金	775,852
利益剰余金	3,049,110
株主資本合計	4,617,065
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△3,900
その他の包括利益累計額合計	△3,900
純資産合計	4,613,165
負債純資産合計	5,127,365

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,364,772
売上原価	994,490
売上総利益	370,282
販売費及び一般管理費	389,014
営業損失(△)	△18,732
営業外収益	
受取利息	477
助成金収入	26,415
その他	221
営業外収益合計	27,115
営業外費用	
為替差損	965
営業外費用合計	965
経常利益	7,417
税金等調整前四半期純利益	7,417
法人税、住民税及び事業税	343
法人税等調整額	7,095
法人税等合計	7,439
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21
少数株主利益	—
四半期純損失(△)	△21
少数株主利益	—
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△3,900
その他の包括利益合計	△3,900
四半期包括利益	△3,922
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,922
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,417
減価償却費	15,258
引当金の増減額(△は減少)	△86,514
受取利息	△477
助成金収入	△26,415
売上債権の増減額(△は増加)	107,552
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,683
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,738
前払費用の増減額(△は増加)	△1,342
未払費用の増減額(△は減少)	12,219
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,547
その他	36,647
小計	25,741
利息及び配当金の受取額	437
助成金の受取額	26,415
法人税等の支払額	△114,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,287
無形固定資産の取得による支出	△16,155
敷金及び保証金の回収による収入	432
敷金及び保証金の差入による支出	△1,216
従業員に対する貸付けによる支出	△1,100
従業員に対する貸付金の回収による収入	956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△39,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,169
現金及び現金同等物の期首残高	3,740,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,653,240

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注及び販売実績

当第1四半期連結累計期間の受注及び販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	販売高 (千円)
開発支援検証サービス	1,161,380	895,601	1,256,593
認定支援サービス	4,592	—	4,592
検証情報サービス	62,057	16,317	65,482
製品検証サービス計	1,228,030	911,918	1,326,668
セキュリティ検証サービス	20,490	16,800	7,950
その他のサービス	29,961	17,315	30,153
合 計	1,278,482	946,033	1,364,772

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結累計期間	
	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社デンソー	338,209	24.8
バイオニア株式会社	213,578	15.6
ソニー株式会社	139,036	10.2